

## 表も裏もわたしらしく

家に帰ってきたときや、寝起きで部屋を見渡したとき、「ああ、しあわせ」と思う。

自分らしい暮らしをしたくて家を買った。

マンションなのにバックヤードがある家。

寝室よりも広い空間に、たくさんの棚やハンガーパイプが設置されている。そこには、洋服から日用品まで、

リビングに出したくないものをすべて詰め込んでいる。

箱買いした水はそのまましまえるし、場所をとる防災リュックも

ここでいい。見える収納だから、非常用の食料品も

忘れることなく期限前に消費できる。

必要なものを必要なだけ。目に見えるから安心できる。

住みはじめて、「広いから作業ができる」という良さに気づく。

放置しがちな洗濯物は、いったんバックヤードに持ち込む。

シワになりやすいものはハンガーにかけたまましまえるし、

畳まなきゃいけないものはそこで畳めばすぐに収納できる。

洗濯物を片付ける手間が減って、自然と放置しなくなった。

おかげでお気に入りのインテリアで設えたりリビングは、

いつも整然としていて気持ちがいい。

余裕のない日があったって、いつもきれいなリビングが

心の安定を保ってくれる。

ひとり暮らし女子の  
こだわりから生まれた10の間取り

# Duo Veel

デュオヴェール川越のAタイプメニュー2、K1、K2タイプメニュー2、Lタイプメニュー2でお選びいただけます。詳しくは係員におたずねください。



## Voice

常に部屋をきれいに見せたいので、平日の洗濯物は麻のバッグに入れて隠しておきます。

**Answer** 一度着たお洋服やまとめ洗いをする洗濯物は、置場に困りますよね。バックヤードにスペースを作っておけば、いつもリビングをきれいに保てるだけでなく、洗面室も広く使うことができます。急にお客様が来ることになっても目に触れることがないので、気にする必要がありません。

## Voice

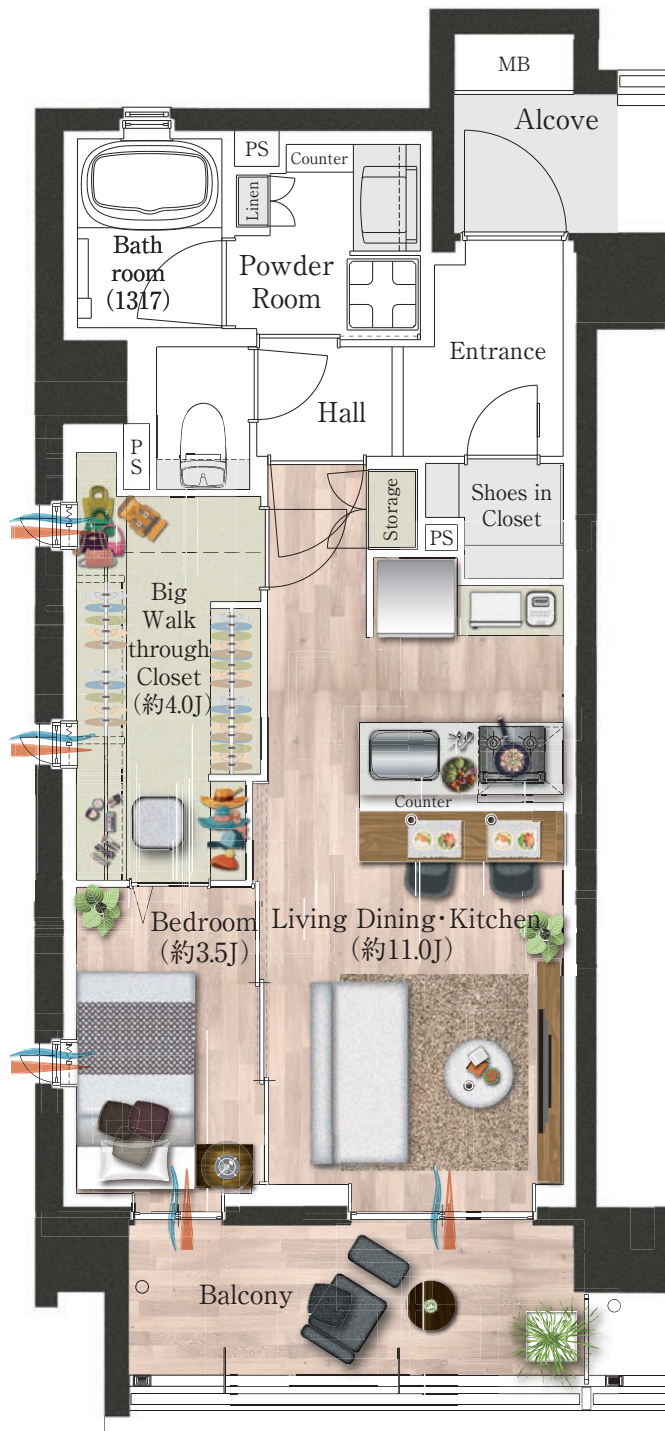
家に帰ってきて、きっちり片付いていないとなんだか自分がだらしない気がして嫌なんです。

**Answer** 大容量の収納スペースがあれば、しまう場所に困らず、気づいたときに片付けることができます。カラーボックスやパイプに吊るすラックなどを組み合わせれば、空間を最大限に活用可能。普段過ごすリビングだけでなく、クロゼットのままで片付いて自己肯定感UP!

## Voice

健康のためにプロテインを飲んでいるんだけど、箱はかさばるのに、しまい込むと飲むのを忘れちゃう…

**Answer** クロゼット内はオープンな棚がメインの見える収納。箱から出して見える位置に収納すれば個数管理も簡単で、忘れずに飲み切ることができます。家の収納が集まっている場所だから使用頻度も高く、「こんなところにしまってた!」といううっかりも防ぐことができます。



※デュオヴェール川越のAタイプのイラスト図となります。

## バックヤードのある部屋

四畳を超える大きなバックヤードに、ハンガーパイプと可動棚、使いやすい高さのカウンターを設置しています。洋服類をしまうクロゼットとしてだけでなく、カウンターを使って洗濯物を畳む、メイクをするなどの作業が可能です。また、キッチンからの行き来もしやすいため、パントリーとしても活用できます。コンセントがあるため、除湿器やサーキュレーターなども使用可能です。

